

# 海洋教育パイオニアスクールプログラム成果報告書

## 1 学校名

洋野町立大野小学校

## 2 活動名

「ふるさと大野発見」～ 洋野の森と海をつなぐ カワシンジュガイ移植大作戦 ～

## 3 教科

総合的な学習

## 4 学年

3～6学年

## 5 ねらい

洋野町の家や川に関心を持ち、自分たちの生まれ育ってきた地域に喜びと誇りを感じ、たくましく生き抜く子どもを育む。

## 6 学習計画

4・5月 課題設定, 学習計画

6～9月 課題追究

3年 「大野の雑穀」

4年 「大野の川の水質調査・生き物調査」

5年 「大野の産業（大野木工・炭焼き・酪農）」

6年 「洋野の森と海をつなぐ」

8月 海洋教育こどもサミット in 東北『海はともだち』で発表（中間）

10月 まとめ, 発表

11月 振り返り

2月 地域カンファレンス

## 7 地域との連携

活動にあたっては、地域に根差した自然保護団体『大野の自然を守る会』と連携し、より専門的な活動を展開することができた。子どもたちは、学校への出前授業や豊かな自然体験活動をとおして、地域の自然を見直したり、良さに気付いたりすることができた。また、地域の人々と積極的にかかわる良い機会となった。

## 8 実施内容【特に成果があった6学年の内容について】

洋野町に源流と河口がある有家川では、全域で絶滅危惧種「カワシンジュガイ」を見ることができた。しかし、水質汚染、河川工事等により大野地区のカワシンジュガイは姿を消した。

そこで、海側の中野地区から内陸の大野地区にカワシンジュガイを移植する活動を行った。大野にカワシンジュガイを根付かせるというねらいのもと、洋野の森と海をつなぐ「川」に視点をあて、森の役割、海の役割、そして人間とのかかわりについて考える活動を行った。

2014年

有家川水質調査。児童の一人が「有家川の下流に今でも生息しているカワシンジュガイを大野に移したい！」と発言。その思いからこの活動が始まる。



水生生物  
を指標に有  
家川の水質  
を考える。



貴重なハ  
ナカジカが  
見つかりま  
した！！

2015年6月

カワシンジュガイ移植①

有家川下流（中野地区）から有家川上流（大野地区）にカワシンジュガイを移植。

2016年8月

台風15号による有家川氾濫・河床変化により、大野地区に移植したカワシンジュガイが絶滅。

2017年6月

カワシンジュガイ移植②

有家川下流（中野地区）から有家川上流（大野地区）にカワシンジュガイを移植。



有家川下流でカワシンジュガイを採取



重さを量り、マーキング



有家川上流(大野地区)に移植

2017年8月

海洋教育こどもサミット in 東北『海はともだち』で発表



6年生の子どもたち6名が「洋野の森と海をつなぐ～カワシンジュガイ移植大作戦～」について発表した。多くの参観者に囲まれ緊張した様子だったが、「カワシンジュガイはヤマメのえらに寄生するので、魚が住みやすい川にする必要がある」や「植林をすることが川を豊かにする」などと堂々

## 9 成果と課題

### <成果>

- ・カワシンジュガイを移植する活動をとおして、地域の人々や自然・社会に興味関心をもち、洋野の森・川・海について考えることができた。
- ・地域の人々とかかわることにより、コミュニケーション能力の育成の一助となった。
- ・発表内容・方法を考え、追求してきたことの要点を分かりやすくまとめ、伝えることができた。

### <課題>

- ・小中高の縦の連携とその活動を引き継ぐ横の連携をマネジメントすること。

# 3年生「ふるさと大野発見」

【ねらい】(目指す子ども像・育成したい力等)

「生きる力」を育てるために、「関わる力」「追究する力」「表現する力」を育てる。

- ・「関わる力」: 地域の人や自然、社会・文化に自ら関わろうとする態度と関わるができる力、友達と協同して学習する力
- ・「追究する力」: 自ら課題を見つけ、解決の仕方を考え、体験を通して意欲的に課題を追究し、決していく力
- ・「表現する力」: 発表方法を考え、追究してきたことを自分の言葉でまとめ、伝えていく力や学習したことを地域貢献に活かしていく力

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月								
体験的な活動	地域の中で(10)				情報発信:大野大好きCMをつくろう(25)				大豆はかせになろう											
探求的な活動													三陸のふっこうを応えんしよう(10)				大豆はかせになろう			
表現活動																				

# 4年生「ふるさと大野発見」

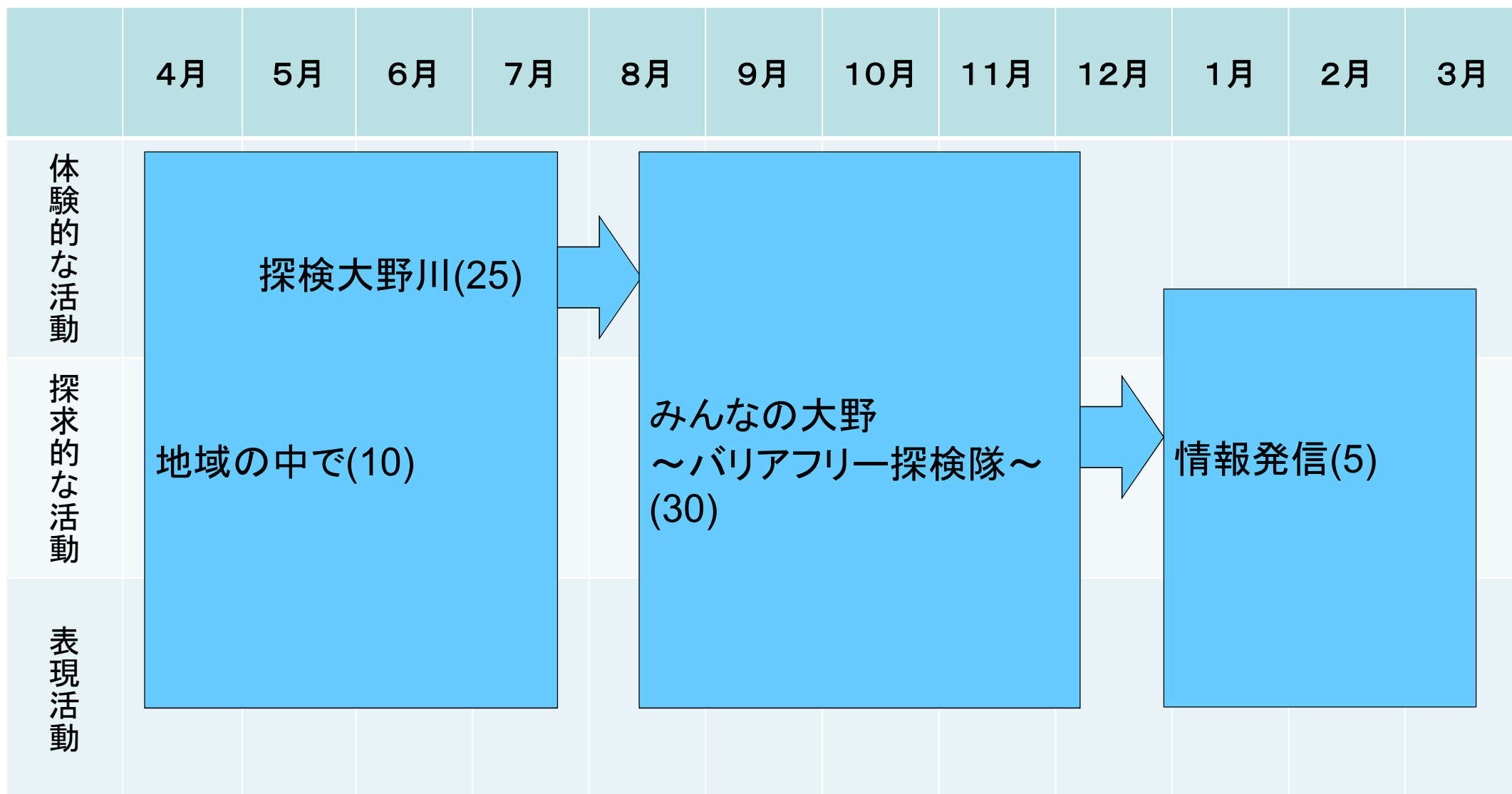
【ねらい】(目指す子ども像・育成したい力等)

「生きる力」を育てるために、「関わる力」「追究する力」「表現する力」を育てる。

・「関わる力」: 地域の人や自然、社会・文化に自ら関わろうとする態度と関わるができる力、友達と協同して学習する力

・「追究する力」: 自ら課題を見つけ、解決の仕方を考え、体験を通して意欲的に課題を追究し、決していく力

・「表現する力」: 発表方法を考え、追究してきたことを自分の言葉でまとめ、伝えていく力や学習したことを地域貢献に生かしていく力



# 5年生「ふるさと大野発見」

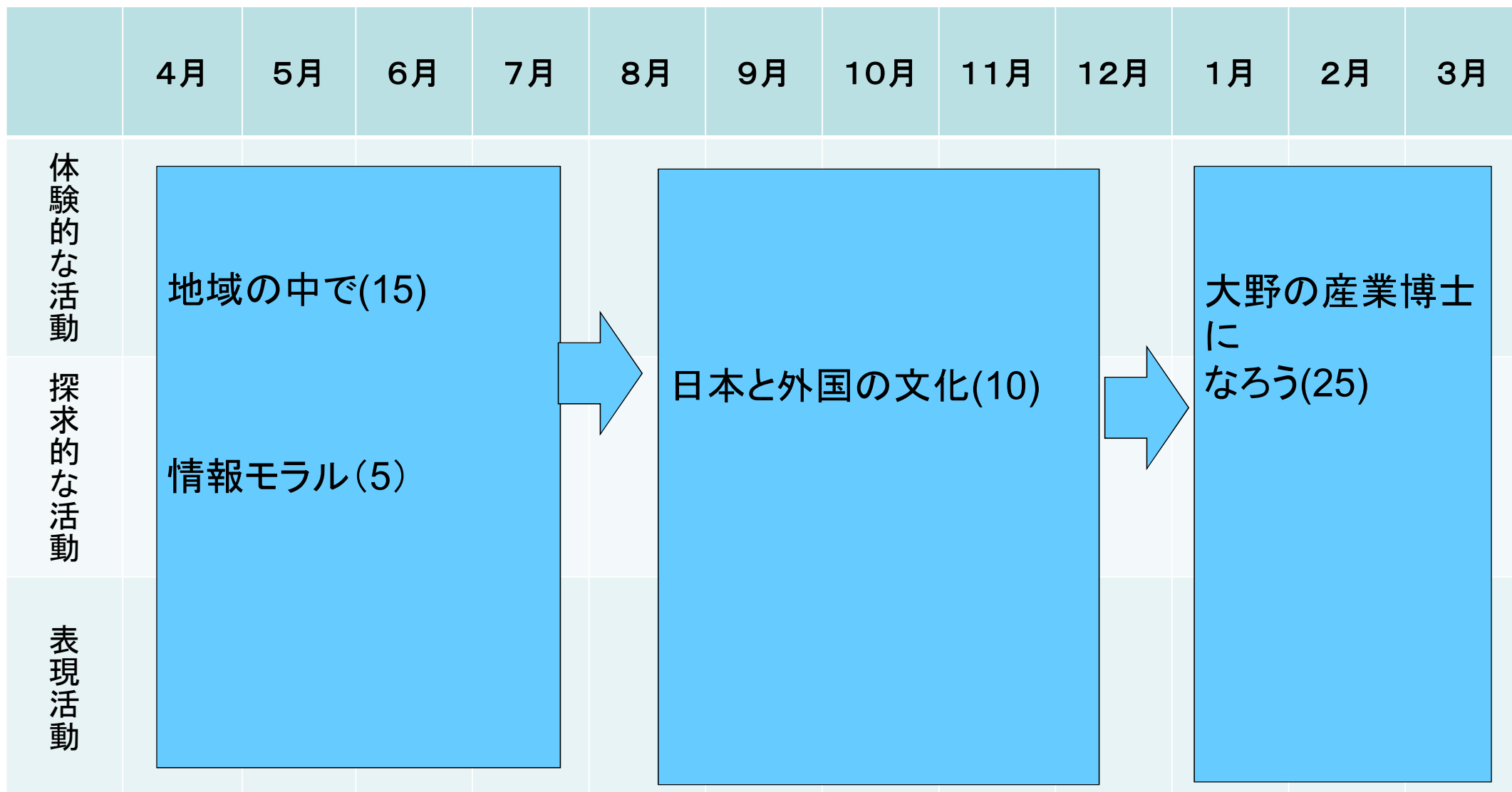
【ねらい】(目指す子ども像・育成したい力等)

「生きる力」を育てるために、「関わる力」「追究する力」「表現する力」を育てる。

・「関わる力」: 地域の人や自然、社会・文化に自ら関わろうとする態度と関わる力、友達と協同して学習する力

・「追究する力」: 自ら課題を見つけ、解決の仕方を考え、体験を通して意欲的に課題を追究し、決していく力

・「表現する力」: 発表方法を考え、追究してきたことを自分の言葉でまとめ、伝えていく力や学習したことを地域貢献に生かしていく力



# 6年生「ふるさと大野発見」

【ねらい】(目指す子ども像・育成したい力等)

「生きる力」を育てるために、「関わる力」「追究する力」「表現する力」を育てる。

- ・「関わる力」: 地域の人や自然、社会・文化に自ら関わろうとする態度と関わることができる力、友達と協同して学習する力
- ・「追究する力」: 自ら課題を見つけ、解決の仕方を考え、体験を通して意欲的に課題を追究し、決していく力
- ・「表現する力」: 発表方法を考え、追究してきたことを自分の言葉でまとめ、伝えていく力や学習したことを地域貢献に活かしていく力

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	ひろの学(25)				ひろの学							
探求的な活動	情報モラル(5)				外国の文化(5)				ひろの学			
表現活動												